2019年 国東市10大ニュース

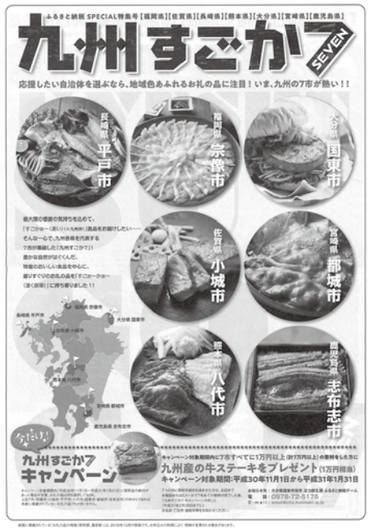
2019年はみなさんにとってどんな1年だったでしょうか？
この1年にあった出来事を、国東市10大ニュースとしてまとめ、振り返ります。

第1位 ふるさと納税、県内4年連続1位 受入れ寄附額が累計100億円を突破

平成30年度の国東市ふるさと納税の受入れ寄附額は約24億円となり、県内では断トツ1位（4年連続1位）、全国でも25位の実績となりました。また、平成20年から始まった国東市ふるさと納税は、11月21日に受入れ寄附額の累計額が100億円の大台を突破しました。

全国の寄附者のみなさんからいただいたふるさと納税は、国東市の貴重な財源となっています。寄附金は寄附者の意思を尊重しながら、産業振興、地域活性化、子育て支援、福祉、教育環境整備など多くの事業に活用されています。

市では100億円達成を契機に、ふるさと納税を活用して市民のみなさんに素直に喜びを実感していただけるような記念事業の実施を令和2年3月に計画しています。



第2位 六郷満山開山1300年が観光振興に大きく寄与 観光客数が過去最高を記録

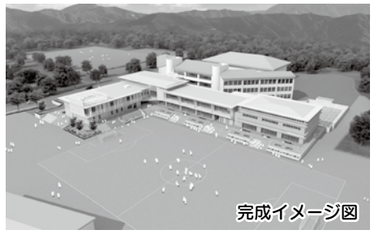
平成30年に開山1300年の節目を迎えた六郷満山。多くの六郷満山寺院を擁する国東市は、県内外からの観光客で賑わいました。その結果、平成30年度の市の観光入込客数は963,587人で過去最高となり、外国人観光客数も29,723人で過去最高となりました。

この盛り上がりが一過性のものとならないよう、4月に国東市が中心となって「国東半島宇佐地域・六郷満山誘客推進協議会」が発足しました。市は、引き続き六郷満山文化を活用した観光振興に取り組んでいきます。

第3位 国東市義務教育学校の名称が「志成学園」に決定

6月10日に、武蔵町の小中学校3校を統合して新たに創設する義務教育学校の名称を「志成学園」とすることが発表されました。ノーベル医学生理学賞を受賞した京都大学の本庶佑教授の座右の銘「有志竟成（ゆうしきょうせい）」より2文字を抜粋し、強い志を持ち、どんな困難も克服し、目的を成し遂げる子どもに育ってほしい・育てたいという願いが込められています。

志成学園は9年間を見通した弾力的なカリキュラムを編成することで児童・生徒の学力向上を図ります。開校は令和2年4月、新校舎の完成は令和2年7月の予定です。


完成イメージ図

第4位 国に先行して市内保育料の無償化が始まる

10月からの国の幼児教育・保育の無償化に先行して、国東市では4月から公立幼稚園・認可保育所・認定こども園に通う0～5歳児の保育料（使用料）が無償化されました。子育て支援を充実させるため、国の無償化の対象外となるケースでも、市の独自事業として無償化を実施しています。

第5位 国東半島芸術祭の作品で、移住者ウェディングを実施

国東市に移住した未挙式のカップルに、地元の方々が企画・運営する「手作りウェディング」が贈られ、国見町伊美に移住した森山夫妻が11月に結婚式を挙げました。

この取り組みは市独自の移住定住推進事業として注目され、多くのメディアに取り上げられました。

第6位 とみくじマラソン大会が第30回、九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会が第20回の節目を迎える

秋の国東路を駆け抜ける2つのレースが、共に記念の節目を迎えました。

第30回記念となったとみくじマラソン大会には約3,000名のランナーが参加し、特別招待された柏原竜二さんがランナーを応援して大会を盛り上げました。

第20回記念となった九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会では、参加校44校と選抜7校の計51校による熱戦が繰り広げられ、神村学園（鹿児島）が大会新記録の力走で優勝しました。